ツアー番号
LKC8V6YMB8

北東部の体験（11日間）

11日間・10泊　ドライバーガイド付きプライベートツアー

AI生成画像・実際の写真ではありません

このツアーについて

この11日間のツアーは、西海岸から北上してジャフナ半島を経由し、トリンコマリーの東海岸を横断し、文化三角地帯を南下してキャンディを経由してコロンボに戻るループをたどります。北部のタミル遺跡、東海岸のビーチ滞在、文化三角地帯の古代都市と岩の要塞、キャンディの丘陵地帯の文化を組み合わせ、首都への帰還で終了します。

旅行者はナルル、ナイナティブ、ムンネスワラムなどのヒンドゥー寺院、ジャフナのオランダ要塞と戦争記念碑、ナガディーパの仏教聖地、トリンコマリーのコネスワラム寺院とフレデリック砦、ピジョン島のサンゴ礁を見学します。さらに南に進むと、ポロンナルワの遺跡、ミンネリヤ国立公園でのサファリ、シーギリヤの岩の要塞、ダンブッラの洞窟寺院、シーギリヤ近くの村体験、マタレ近くのスパイス庭園、キャンディの仏歯寺と文化舞踊ショーが含まれます。最後の数日はコロンボの街の見どころとピンナワラ象の孤児院を追加して出発前に終了します。

ツアーは始終プライベートの車と運転手ガイドで運行され、毎日のペースと立ち寄りを必要に応じて調整することができます。



日程詳細

1日目　空港 → ネゴンボ

ツアーは到着後、ネゴンボ近郊にある重要なヒンドゥー教寺院群の見学から始まります。



ムンネスワラム寺院

少なくとも西暦1000年にまで遡る、この地域で重要なヒンドゥー教寺院群で、叙事詩「ラーマーヤナ」とその英雄王ラーマにまつわる伝説と結びついています。シヴァ神に捧げられた、この地方に5つある古代寺院のひとつです。

Leon Meerson · CC BY-SA 2.0

2日目 ネゴンボ → ジャフナ

ルートは北へ向かい、ジャフナ半島のヒンドゥー教寺院、植民地時代の史跡、戦争記念碑を巡ります。



ナルール、ナイナティブ、マヴィッタプラムの各寺院

4000年以上の歴史を持つ古代ヒンドゥー教寺院群で、その建築と工芸の美しさで知られています。

Gane Kumaraswamy · CC BY-SA 2.0

ジャフナ・オランダ要塞

ジャフナにある植民地時代の要塞で、近年の内戦の戦争記念碑とともに見学します。

サラスワティ・マハル図書館

ジャフナにある歴史的図書館で、ナーガディーパ・ヴィハーラやジャフナ最後の王チャンキリ1世の宮殿とともに訪れます。



ナイナティブ・ナーガポーシャニ・アンマン寺院

少なくとも2000年の歴史が文献に記録されている寺院で、プトレマイオスによる記述や、インドラ神への信仰の伝説と結びついています。ドラヴィダ建築の特徴である4つのゴープラム、複数のマンダパムや山車を備え、世界に64しかないシャクティ・ピータムのひとつとされています。

Wikinamaste · CC BY-SA 3.0

3日目 ジャフナ

ジャフナでの1日は、島で最も神聖な仏教聖地のひとつに焦点を当てます。



ナーガディーパ・プラーナ・ヴィハーラヤ

スリランカで最も神聖な16の仏教聖地のひとつで、独特の建築様式を持ち、仏陀が2度目にこの島を訪れたという歴史とつながりがあります。

derivative work: Taprobanus (talk) NainathivuNahaVihara.JPG: Regunathan Umapathy · Public domain

4日目 ジャフナ → トリンコマリー

トリンコマリーへの道中では、古代の洞窟聖地、町の植民地時代の要塞、そして仏教の村ティリヤヤを訪れます。



コネスワラム寺院

インドの詩聖たちに称えられた古代寺院で、その歴史を描いた壁画があります。洞窟聖地は紀元前1580年に遡り、本堂は紀元前400年頃に発展しました。巨大なラーヴァナ王の像は、ここで彼が伝説的に崇拝されていたことを物語っています。

Shamli071 · CC BY-SA 3.0

トリンコマリー要塞(フレデリック要塞)

もともとは1624年にポルトガル人が、破壊されたコネスワラム寺院の石材を使って築いたもので、後にオランダ人によって解体・再建され、フレデリック要塞となりました。



ティリヤヤ

かつてタミル仏教が信仰されていた村で、仏陀が2人の商人に毛髪の遺骨を授けた場所とされるギリハドゥ・セヤ・ストゥーパや、最後のヴァンニヤール族の首長の要塞跡があります。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません

5日目 トリンコマリー

トリンコマリー沖の海洋生物とサンゴ礁を探索する1日です。



ピジョン島国立公園

小さな島と大きな島からなる公園で、大きい方はサンゴ礁に囲まれています。カワラバトの繁殖地であり、多様なサンゴや海洋生物を観察できる場所です。

AntanO · CC BY-SA 4.0

6日目 トリンコマリー

トリンコマリーのビーチを楽しむ自由日です。



トリンコマリー・ビーチ

東海岸沿いに広がる黄金の砂浜、揺れるヤシの木、そして澄んだ青い海。

Kondephy · CC BY-SA 4.0

7日目 トリンコマリー → ポロンナルワ → ミンネリヤ → シギリヤ

南への旅は、古都ポロンナルワを経て、ミンネリヤ国立公園でのサファリを楽しみながらシギリヤへと向かいます。



ポロンナルワ

西暦10世紀から13世紀にかけて繁栄した、スリランカ第二の王都です。見どころは、ガル・ヴィハーラ、ワタダーゲ、蓮の池、ランカティラカ寺院、そしてパラークラマバーフ王の像などです。

Bernard Gagnon · CC BY-SA 3.0



ミンネリヤ国立公園サファリ

ミンネリヤ国立公園でのサファリで、5月から10月にかけて150頭を超える象が集まる「グレート・エレファント・ギャザリング」で知られ、その他の哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類も見られます。

Stuart Pinkney · CC BY 2.0

8日目 シギリヤ

この日はシギリヤ・ロック・フォートレスへの登頂に加え、村の暮らしを体験し、ダンブッラの洞窟寺院を訪れます。



シギリヤ・ロック・フォートレス

5世紀にカーシャパ王によって築かれた岩の要塞で、ライオンの前足を模した入口から中に入ります。登る途中には、色褪せない壁画、段々になった庭園、現在も機能する水槽、そして宮殿跡へ通じる坑道があります。

Wrobell · CC BY-SA 3.0

村の暮らし体験

牛車に乗り、穏やかな湖でカタマランによるサファリを楽しみ、水田を歩き、伝統的な料理の実演を見学し、蓮の葉に盛られた家庭料理の昼食をいただきながら、村の生活を体感します。



ダンブッラの黄金寺院

紀元前1世紀に遡る洞窟寺院群で、仏陀の生涯を描いた壁画や、5つの主要な洞窟(「神聖な王の洞窟」や「大新僧院」を含む)に数百体の仏像や神像が安置されています。境内の外には大きな黄金の仏像が立っています。

Lankapic · CC BY 2.5

9日目 シギリヤ → マータレー → キャンディ

キャンディへ向かう途中、マータレー近郊のスパイス園に立ち寄り、その後市内の主要な仏教寺院と伝統舞踊の公演を訪れます。



スパイス&ハーブ園

コリアンダー、唐辛子、シナモン、カルダモン、ナツメグなどのスパイスを案内付きで見学し、料理の実演やロティ・カレー粉作りのワークショップを体験します。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません



仏歯寺

16世紀に建てられた、仏陀の聖なる歯の遺骨を安置・保護するためのユネスコ世界遺産で、彩色された広間、彫刻の施された柱、黄金の仏像が見られます。

A.Savin · FAL



キャンディ伝統舞踊ショー

スリランカの伝統芸術を1時間にわたって上演するもので、火の踊り、剣の踊り、太鼓の演奏に合わせたキャンディアン・ダンスなどが含まれます。

Arian Zwegers · CC BY 2.0

テクニカルツアー

宝石研磨、木彫り、バティック染めなどの工芸に関連した見学を行います。

10日目 キャンディ → コロンボ

最終区間はコロンボへ向かい、市内の名所とピンナワラの象の保護施設に立ち寄ります。



コロンボ市内観光

首都の名所を巡ります。旧灯台、旧国会議事堂、ゴール・フェイス・ホテル、ゴール・フェイス・グリーン、ガンガラーマ寺院、国立博物館などに加え、独立記念広場やレースコース周辺でのショッピングも楽しめます。

Gihanud2001 · CC0



ピンナワラ象の孤児院

サバラガムワ州に位置する、自然の生息地を失った、あるいは迷子になった子象たちの保護施設です。約70頭の象を飼育しており、世界最大の飼育象の群れとなっています。

Bernard Gagnon · CC BY-SA 3.0

11日目 コロンボ → バンダラナイケ国際空港

朝食後、チェックアウトして空港へ向かい、出発となります。

含まれるもの

含む

- Transport in a Private Vehicle, inclusive of all chauffeur accommodation.
- Service of an English-Speaking Chauffeur Guide throughout the tour.
- All prevailing taxes and service charges.

含まない

- Hotel Accommodation and Meals.
- Entrance fees to the respective sites.
- Chauffeur Guide's Accommodation.
- Expenses of personal nature.
- Visa and Related Expenses.
- Tips & Portages.